



第3次阿波市総合計画

第3次阿波市総合戦略
(2025-2034)

概要版



ごあいさつ

阿波市では、平成28年度策定の「第2次阿波市総合計画」及び令和3年度策定の「第2次阿波市総合計画後期基本計画」に定められている、「あすに向かって人の花咲くやすらぎと感動の郷土(くに)・阿波市」という将来像の実現に向け、「協働・創造・自立のまちづくり」の基本理念のもと、様々な取り組みを積極的に推進し、着実に成果を上げてきました。



また、まち・ひと・しごと創生法に基づく地方版総合戦略として令和元年度に策定した「第2次阿波市総合戦略」では、「阿波市人口ビジョン」が示す将来展望に向け、人口減少問題の克服と持続可能なまちづくりに重点を置いた取り組みを鋭意進めてきたところです。

しかし、依然として進行する少子高齢化・人口減少、激甚化・頻発化する災害や不安定な国際情勢、さらにデジタル化の急速な進展など、私たちの生活を取り巻く社会環境は大きく、複雑に変化し続けています。

また、本市におきましても、全国平均を上回るペースで進む少子高齢化や令和7年度に「合併特例債」が発行期限をむかえることなどによる財政基盤の見直しなど、取り組むべき喫緊の課題がございます。

これらの課題に対し、的確かつ柔軟に対応するため、「第3次阿波市総合計画」を策定いたしました。

本計画では、長期的な視点に立ち、安全安心なまちづくりに不可欠な災害対策、切れ目のない子育て支援、豊かな自然を活かした農業振興、さらに現在整備を進めております「(仮称)阿波スマートインターチェンジ」の整備など、本市の強みを生かした施策を分野別に体系化し、戦略的に展開できるよう定めております。

各種施策の推進にあたっては、市民の皆様としっかりスクラムを組みながら、ふるさとへの誇りと愛着を感じられるまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

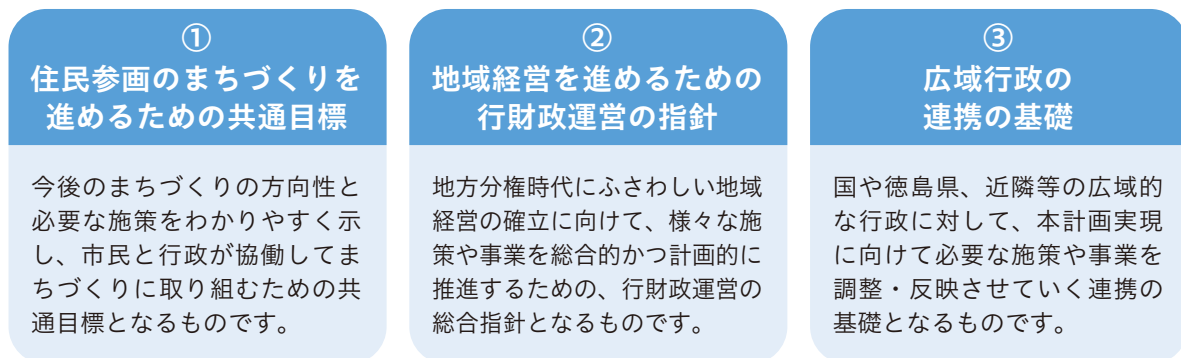
末筆ではございますが、本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました総合計画審議会委員の皆様をはじめ、市民アンケート調査等を通じまして、貴重なご意見、ご協力を賜りました多くの皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和7年3月

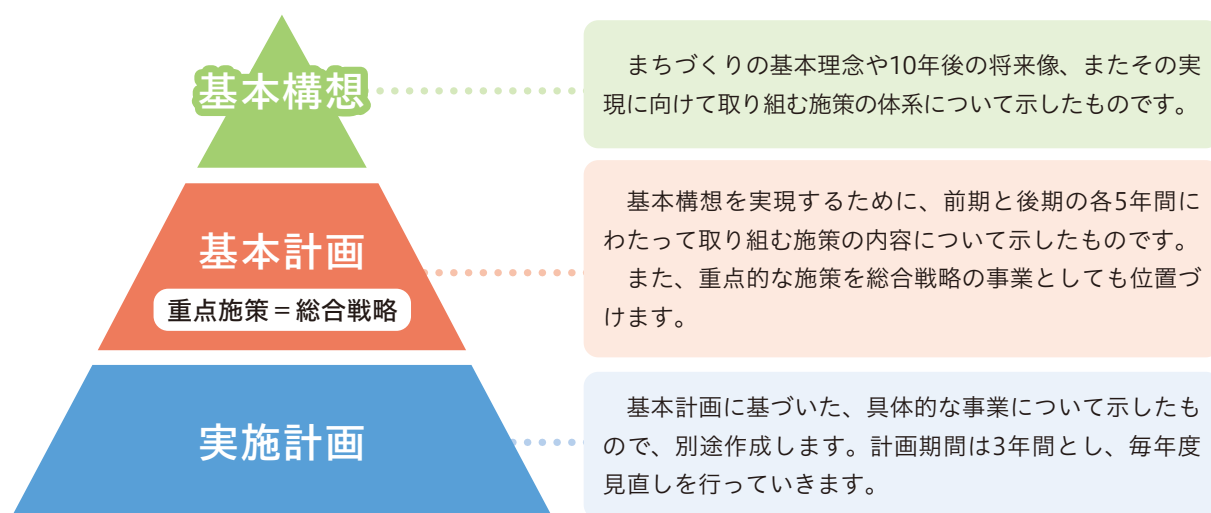
阿波市長 町田 寿人

計画の性格と役割

「総合計画」は、地方自治体が策定する自治体の全ての計画の基本となる、行政運営の総合的な指針となる計画です。



総合計画・総合戦略の構成と期間

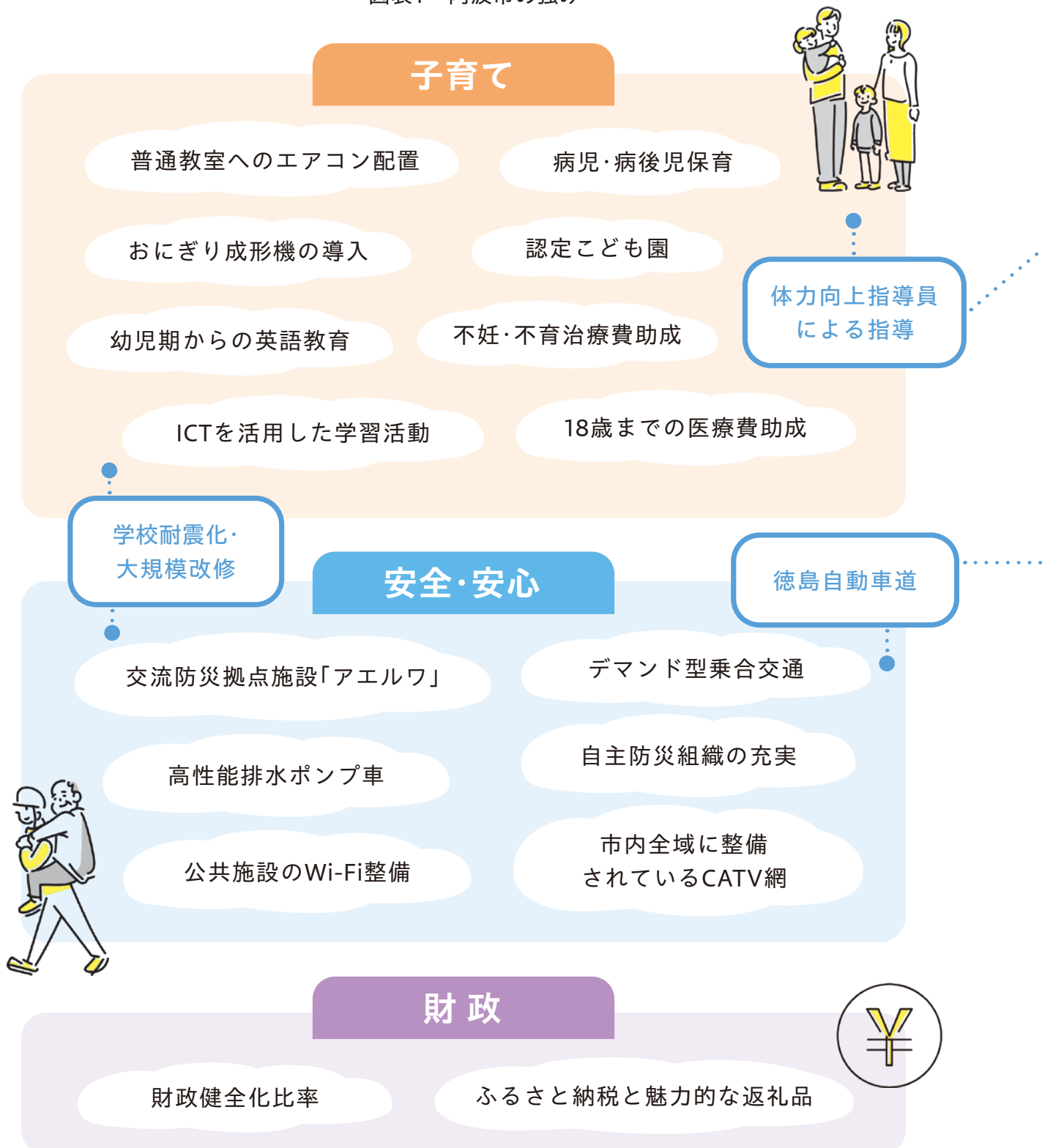


	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度	令和13 (2031) 年度	令和14 (2032) 年度	令和15 (2033) 年度	令和16 (2034) 年度
基本構想	10年間									
基本計画	5年間（前期基本計画）					5年間（後期基本計画）				
重点施策 （総合戦略）	5年間					5年間				
実施計画	3年間 毎年見直し・評価									

阿波市の強み

人の流れを呼び込むにあたって、阿波市には以下のようなたくさんの強みがあり、これらをまちのかけがえのない資源として活用することができます。

図表1 阿波市の強み



健康

節目人間ドックの全額助成

ウォーキング

阿波市健康ポイント事業



観光

たらしいどん

阿波の土柱

錦鯉せり市

四国八十八箇所霊場

阿波オープンガーデン等
各種イベント

阿波シティマラソン



SNSでの発信

日本一の
中州善入寺島

農業

豊富な農産物「関西の台所」

新規就農者数

畜産生産地

農産物産直市

吉野川北岸農業用水

農産物出荷高

野菜ソムリエ
キッズ野菜ソムリエ

酒米「阿波山田錦」

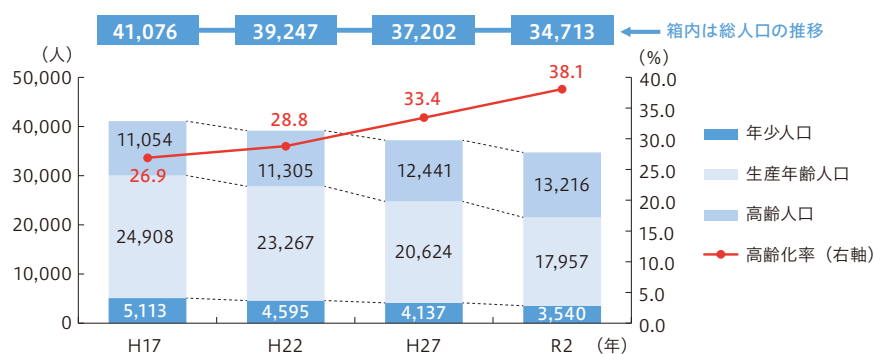


阿波市の人口動態

● 年齢3区分人口と高齢化率の推移

総人口が減少を続けており、令和2(2020)年には34,713人となりました。高齢人口が増加し、高齢化率が上昇する一方で、年少人口と生産年齢人口は減少が続いています。

図表2 年齢3区分人口と高齢化率の推移

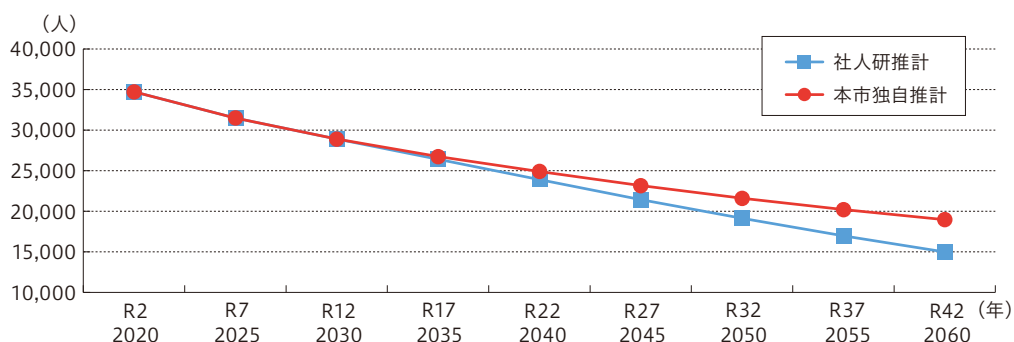


人口の見通し

現時点で最新の本市の国勢調査人口は34,713人（令和2（2020）年時点）となっていますが、国立社会保障・人口問題研究所（以下『社人研』）による将来人口推計（令和6年5月）によれば、人口減少は今後も進んでいくことが見込まれており、令和32（2050）年には20,000人を下回り、令和42（2060）年には、現在の半分未満の15,000人程度まで減少していくと推計されています。本市においても人口減少は大きな課題の一つとなっており、人口減少対策に係る取り組みのさらなる推進が求められています。

こうした現状を踏まえ、本市では総合戦略を軸として、様々な人口減少対策を実施し、世代別の人口バランスを改善することで持続可能な自治体を目指します。

図表3 将来人口推計（社人研・本市独自推計）



まちづくりの基本理念

協働・創造・自立のまちづくり

市民と行政とが対話し、知恵を出し合い、行動を起こし、個性と魅力あふれる自立した阿波市を共につくり上げていくことを原則とし、基本理念を「協働・創造・自立のまちづくり」とします。

協働

市民と行政との新たな関係を構築し、知恵と力を合わせて阿波市をつくれます。

創造

本市ならではの特性・資源を生かし、個性的で魅力ある、誇りうる阿波市を創造します。

自立

地方分権・地方創生の時代の自主・自立のまちづくり、住民自治の地域づくりを進めます。

将来像

本市は、これまでに合併新市としての基盤づくりや一体感の醸成等に取り組んできましたが、加速する高齢化と人口減少により、社会構造が大きく変動していく中で、さらなる変化が求められています。

そこで、市民が主役となり、その豊かな経験や能力を発揮し、市民と行政が手を取り合いながら、「住んで良かった、住み続けたい」と実感できる暮らしやすいまちづくりに取り組むことで、様々な地域課題の解決や豊かで活力ある地域社会の実現を目指すことが重要です。

また、次代を担う子どもたちや地域を支える人々が、ふるさとへの誇りと愛着を感じられるようなまちづくりを進めていくことも大切です。

以上を踏まえ、10年後の将来像を次のように掲げます。

みんなでつくる 未来に誇れる
やすらぎのまち 阿波市

まちづくりの柱

将来像を実現するために6つの「まちづくりの柱」を定め、総合的かつ戦略的に多様な幸せが実感できるまちづくりを進めます。

1 安全に暮らせるまち・阿波（生活環境分野）

住民の日常生活を守るため、災害に備えた防災・減災体制の充実、交通安全・防犯の充実、さらには消費者対策の推進を図ります。また、水と緑の豊かな自然が息づくまちであり続けるため、森林等の自然保護を推進し、適切なごみ処理の推進を図ります。

2 快適に暮らせるまち・阿波（生活基盤分野）

計画的な土地利用を図り、道路・公共交通や、住宅の整備を推進することで、定住対策を推し進めていきます。また、水道や排水処理体制を強靱化するなど、災害に強く、強靱なインフラ整備を推進します。

3 健康で共に支え合うまち・阿波（健康・福祉・子育て分野）

新たな医療ニーズ、福祉ニーズに対応しつつ、高齢者、障がい者、生活困窮者の支援に向けた地域福祉の充実を図ります。また、「子育てするなら阿波市」のキャッチフレーズのもと、子ども・子育てを重視したまちづくりを推進します。

4 誰もが学び、高め合うまち・阿波（教育・文化分野）

学校教育、生涯学習、スポーツ、文化芸術等、子どもから大人まで誰もが学べる環境を充実させていきます。

5 豊かで賑わいのあるまち・阿波（産業分野）

農業、商工業、観光の振興を図り、本市の産業が新たな付加価値を創造するための支援を行います。また、産業の発展に伴う新たな雇用の場を確保することによって、住民生活の安定化を図ります。

6 未来に誇れるまち・阿波（共生・協働・行財政分野）

持続可能な市政を運営していくため、効率的で、限られた資源を最大限有効に活用する行財政運営の推進を図るとともに、協働のまちづくりを推進します。また、住民一人ひとりが最大限の力を発揮できるよう、人権を尊重し、多様な価値観を認め合える社会を構築します。

計画の体系

第3次阿波市総合計画前期基本計画の施策体系は以下のとおりです。

なお、基本計画の施策のうち、人口減少対策として重点的に取り組む施策については、第3次阿波市総合戦略の事業としても位置づけます。

将来像	基本理念	まちづくりの柱 (政策目標)	施策	総合戦略
みんなでつくる 未来に誇れる やすらぎのまち 阿波市	協働・創造・自立	1 安全に暮らせる まち・阿波 (生活環境分野)	1 消防・防災の充実	★
			2 交通安全・防犯の充実	★
			3 環境保全の推進	★
			4 ごみ処理等環境衛生の充実	
		2 快適に暮らせる まち・阿波 (生活基盤分野)	1 計画的な土地利用の推進	★
			2 道路・公共交通の充実	★
			3 住宅・公園・緑地の充実	★
			4 水道・排水処理の充実	
		3 健康で共に支え 合うまち・阿波 (健康・福祉・子育て分野)	1 保健・医療の充実	★
			2 地域福祉の充実	
			3 子育て支援の充実	★
			4 高齢者福祉の充実	★
			5 障がい者福祉の充実	
			6 社会保障制度の適正運用	
		4 誰もが学び、高め 合うまち・阿波 (教育・文化分野)	1 学校教育の充実	★
			2 生涯学習・生涯スポーツの充実	★
			3 文化・芸術の振興	
		5 豊かで賑わいの あるまち・阿波 (産業分野)	1 農業の振興	★
			2 商工業の振興	★
			3 観光の振興	★
			4 雇用対策の推進	★
			5 定住・移住対策の推進	★
		6 未来に誇れる まち・阿波 (共生・協働・行財政分野)	1 多様性を認める社会の推進	★
			2 協働のまちづくりの推進	★
			3 持続的な行財政運営の推進	★
			4 デジタル化の推進	★

阿波市 総合戦略

基本目標 1 新しい人の流れづくり

基本目標 2 地域における仕事づくり

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望づくり

基本目標 4 活力ある暮らしやすい地域づくり

総合戦略の4つの基本目標

基本目標1

新しい人の流れづくり

阿波市への新たな人の流れを創出するために、自然と調和した住環境をはじめとした「阿波市の魅力」を全国へ発信します。

また、観光・交流拠点の管理活用、イベントの活用、農業や歴史・文化・食等を生かした観光の展開を図りながら、徳島県東部地域 DMO の構成市町村及び企業と連携した広域的な観光地域づくりを目指します。

さらに、定住・移住に関する相談体制や支援を推進することで定住者の増加を図ります。あわせて良質・安全な住宅建築及び改修の促進や雇用促進に向けた取り組みを推進することによって定住の基盤を整備していきます。

基本目標2

地域における仕事づくり

阿波市に人が住み続けるためには、生活の糧となる収入が得られる「仕事」が必要です。この「雇用の場」の確保は、阿波市に人を呼び込み、住み続ける上で欠かせない取り組みであると言えます。

そこで、交通網の整備、農用地の保全、企業立地の促進、新規創業等の支援、さらに商工業経営の支援を多面的に推進することで、雇用の確保へと結びつく産業基盤の整備を図ります。

また、地域特性を生かした「阿波市ブランド」の展開や、野菜ソムリエの育成を行うことで、阿波市ならではの個性を持った産業育成を行い、新たな仕事づくりにつなげていきます。

基本目標3

結婚・出産・子育ての 希望づくり

近年、核家族化の進行や地域における支え合いの意識の希薄化が進んでいることから、子育て等への負担や不安の軽減を図り、出産・子育てを望む方が安心して、子どもを産み、働きながら、子育てができる環境づくりを行うことが重要です。

そこで、結婚～妊娠・出産～子育て～教育にわたって、切れ目のない支援を充実するとともに、母子手帳アプリの活用や乳幼児健診の実施をはじめとした多様な子育て支援施策を推進することによって、市民や企業、行政など地域全体で支え合う子育て環境づくりを推進します。

基本目標4

活力ある暮らしやすい 地域づくり

阿波市の魅力を高め、新しい人の流れをつくり、「ひと」「しごと」の好循環を継続していくためには、安全・安心に暮らすことのできるまちづくりの推進が重要です。

このまちづくりを行っていく上で、最も重要な役割を担うのは人材です。そのため、地方創生の取り組みや地域づくりを支える人材の育成や掘り起こし、そして誰もが居場所、役割、生きがいを持ち、健康でいきいきと活躍できるまちづくりを推進します。

また、全ての世代の市民がやすらぎの中で暮らすことのできる環境整備、自然災害の少ない地理的条件を生かした、広域的な防災拠点としての役割と機能の強化などに取り組めます。

さらに、行政内部のICT環境や、自治体DXの推進によって、業務の効率化とサービスの充実を図ります。

阿波市民憲章

わたしたちは、阿讃山脈と吉野川に囲まれた豊かな自然、輝かしい歴史や伝統に培われたこのまちに生きる喜びと誇りをもち、「あすに向かって人の花咲くやすらぎ空間・阿波市」の創造をめざしてこの憲章を定めます。

- 1 気持ちのよいあいさつをし、笑顔いっぱいのまちをつくれます。
- 1 自然や公共物を大切にし、清潔で美しいまちをつくれます。
- 1 だれにも親切にし、優しさのあふれるまちをつくれます。
- 1 元気いっぱい仕事に励み、人が輝くまちをつくれます。
- 1 趣味や特技を磨き教養を深め、心豊かな文化のまちをつくれます。

第3次阿波市総合計画概要版

発 行 令和7年3月

発行者 徳島県阿波市

〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田201番地1

TEL 0883-36-8700

FAX 0883-36-8760

<https://www.city.awa.lg.jp>